

平成25年度 第1回 雇用連絡会共催就労支援部会 議事録

開催日時 平成25年5月27日(月)13:30～15:30

会場 滋賀県甲賀合同庁舎 甲賀保健所 1階大会議室

加盟機関 40機関、

参加機関 26機関29人

議題1 雇用連絡会議

○ハローワーク上田所長挨拶

- ・有効求人倍率…滋賀県は全国35位、近畿最下位
- ・4月より体制が変わり1名減。障害担当が斎藤氏→柴田氏に変更
- ・雇用率の6月1日報告は甲賀の分は草津が担当することになった
- ・未達成事業所には指導を行う
- ・法改正で雇用する事業所が増えてきた
- ・甲賀雇用対策協議会が9月にあり、研修が一緒にできるとよい。

○柴田就職支援コーディネーターより

- ・H24年度の就労状況…118名就職

新規求職者申込については、一般から障害者雇用になった人、他地域から甲賀へ移ってきた人も含まれている。精神・その他が年々増加傾向にある。

- ・精神・その他の中に発達障害も含まれている。発達障害だけの正確な人数は不明。

○労働局より

- ・平成24年度の障害者の就職件数は3年連続で過去最多で870件。
- ・障害種別の就職件数では、身体、精神ともに302件であるが、前年度との比較では精神が34.8%増加し著しく伸びている。知的障害者については、大手の会社で雇用があった。
- ・増加の要因としては、ハローワークを中心とした関係機関（福祉施設、特別支援学校等）との連携により、就職から職場定着までの継続的なチームでの支援がなされたこと、ハローワーク等の啓発活動により企業の精神障害者雇用への理解が進んできたことが挙げられる。
- ・就職率は滋賀県44%、全国42.2%
- ・新規事業として、滋賀県は製造業主体であるが、近年福祉・教育・医療からの雇用への推進事業がある。
- ・障害者の権利に関する条約に関する意見書をH25.4月に国会に提出。
(差別の禁止、苦情処理、精神障害者の雇用の義務化等)
- ・トライアル雇用について、昨年度は年度初めに予算がなくなったとの話があったが、今年度はどうなのか？→予算の目安はある。企業が初めての雇用の場合は使える。

○労働雇用政策課（山本氏）より

- ・平成25年度障害者就業促進関係事業に関しては昨年とほぼ同じである。
- ・障害者雇用優良事業所等知事表彰制度が今年度も9/2に開催されます。今年度からは個人の表彰について、会社からも推薦できるようになった。詳しいことはホームページを参照。
- ・障害者就職面接会は、9/26(木)午後 草津エストピアホテルにて。
- ・障害者委託訓練については、合計61名で予定していたが41名に変更。

○各関係機関より

- ・あかつき…4月に異動あり。最近の傾向として、脳血管障害等の方の支援が困難な方が多い。まずは作業所を進めても自分の行くところではないと拒否したりと、次の一歩に踏み出せず、支援が難しい。
- ・甲賀地域ネット相談サポートセンター…生活支援が中心。
- ・三雲養護学校…今年度より石部高校内に石部分校を開校。定員24名で現在は17名。
甲賀圏域外からの通学もあり。3年(信楽校舎も含む)26名、1～3名が就労希望。
- ・テクノカレッジ…今年度、甲賀圏域2名の卒業。
- ・甲南高等養護…今年度24名の卒業生。甲賀圏域は5名。圏域を越えて希望している人もいる。
- ・いしべ共働作業所…就労移行とB型支援事業所。1名就職が決まり、4名の空き。
- ・さつき作業所…就労移行は3月で休止→廃止。2名が就労希望。
- ・しろやま…今までサービスに繋がっていなかった人や本人や家族の意思の違い(本人はサービスを必要としていなかった等)があり、支援が難しいケースもある。
- ・甲賀福祉作業所…利用者が高齢の人と養護学校を卒業した若い人の二極化。作業所を高齢の方は自分の居場所として、若い人の保護者も居場所として求めているが、就労も一つの道として伝えていきたいと思う。今までの成功例等がないので、何かよいアドバイスや支援の方法があれば教えてもらいたい。
- ・甲賀市商工政策課…若年層の就労相談。新卒者と概ね39歳以下の就職説明会として、9/18に甲賀ジョブフェア開催(碧水ホール)
- ・湖南市発達支援室…小中学校の相談。中学校卒業した方の相談。
- ・職業センター…12年ぶりに滋賀に戻ってきて、働き・暮らし応援センターが7圏域にあり、滋賀は発展していると感じた。これから十数年後にはどうなっていくのだろうと楽しみである。こういう風にしたいという目標を持って取り組んでいってほしいと思う。
就労支援部会のような会議で、これからの支援ができてくるのであろうと期待している。(岩佐所長より)
- ・湖南市社会福祉課…チャンスワークこなんと連携しながら取り組んでいる。
- ・このゆびとまれ…精神の就職率が上がってきているという話だが、その実感はない。
就労を切り口に福祉につながってくる方が多い。

- ・さわらび作業所…職員体制は厳しい。
就労希望者はいるが、なかなか支援できない状況である。
- ・ワークセンター紫香楽…就労移行3、4名が今年度中に就職予定であり、順に空きが出て行く予定。B型よりも3名の就労希望あり。今年度より地域のGHから就労されている方も多いため、信楽地域生活支援センターと一体となって、支援できるように事業所（主に陶器会社）との顔合せを進めていっている。
- ・しがらき地域生活支援センター
…信楽に住んでいる人、信楽で働いている人の支援をしている。
ワークセンターと協力して支援していく方針。
- ・滋賀県健康福祉部障害福祉課(安藤氏)
…障害者の一般就労を担当。滋賀県では働き・暮らし応援センターへの相談件数が年間69,000件。就職の相談件数が増加している。

議題2 就労支援部会議

○新就労支援部会長選出

- ・大槻所長に決定。

○平成25年度要綱確認

- ・昨年度と特に変更はなし。

○研修について

- ・前年度…大阪市就業・生活支援センターの前野所長の講演。2年後には就職して出て行くといった意識を持って取り組んでいる（利用者も職員も）。1月には中央授産場への研修・見学。就職に向けてアセスメントし、次に繋げていく、方向性を明確にするという役割を持っている。
- ・今年度…一般高校を卒業したが就職できない人、就職したが続けられない人、そこで診断を受けたり手帳を取得する人も増えてきている。そこで、津のやまびこ総合支援センター内にある就労移行支援事業所「スコラ」への研修を検討している。
- ・雇用対策協議会…毎年、講師に来てもらっての研修を行っている。内容としては、人権研修（人権、パワハラ等）や雇用管理研修。
- ・商工政策課…9月に行政・学校・企業を対象に研修を予定している。テーマはまだ未定であるため、障害者雇用について理解してもらえるような内容も検討できる。

○ジョブガイダンス

- ・事業報告…H22年度より初めて昨年度が3年目。昨年度は参加者が少し減ったが、H23年度で就職できる人は就職したこともあり、参加者の8割が新規であった。そのため、就職者も5名と比べると少なかった。
- ・養護学校の参加について
三雲養護学校…該当する生徒が少ない。内容としては参加させてもよいと思うが、詳し

いことが分かるのが1ヵ月前となると、授業との絡みがあるので難しい。
甲南高等養護…三雲養護学校と同様で授業との絡みがあるので難しい。履歴書の書き方
等は学校でも教えている。また、模擬面接もしている。

・ジョブガイダンスの有効性について…

圏域でサービス事業所から一般就労への就職率の把握はしているのか？また、ジョブガイダンスを始めて圏域の就職率は上がったのか？就労移行の状況がどのように動いているのか？等の分析をしてみてもどうか。

ジョブガイダンスは本人だけでなく、職員の意識の向上という目的もある。

利用者としては、ジョブガイダンスを受講することによって、普段見えない姿(所内では自発的に発言するタイプではないが、手を挙げて発表する等)が見えたり、就職への意識が高まるという効果もあった。

・今年度の研修内容について…

企業実習…受け入れ体制が整っている事業所ではなく、障害者を受け入れるのは初めて
というような企業はどうか。

企業の方からの講演

実際の就職面接…模擬面接ではなく、ジョブガイダンスで面接をしてもらい、内定をもらえるような流れはどうか。

○その他(各機関からの情報等)

- ・優先受注の件については、湖南市は作業所部会がある。

甲賀市の作業所での受け皿がまだないので、まず受け皿づくりを検討。

合わせて甲賀市内の高齢者で買い物困難者支援の検討。

- ・事務局会議に、近江学園と信楽学園にも参加していただく。

- ・「障がい者就労支援情報」の改訂版を作成するため、各事業所の事業内容や連絡先が変わった事業所は、事務局(雇用・生活支援センター)まで連絡してください。

○部会長挨拶

- ・今後、甲南高等養護や三雲養護学校の石部分校の卒業生も出てくるため、就労希望者が増えてくる。

- ・就労希望が増える一方、生活の場がなく、確保が難しい状況になってきている。グループホームについても、キーパーは誰でも良い(できる)わけではないので人材確保が難しい。

○就労支援部会は5月、2月の第4月曜日13:30~15:30、2回開催+研修、
事務局会議 6月~1月、3月の毎月第4月曜日13:30~15:00

※6月24日事務局会議は、ハローワーク甲賀会議室 13:30~15:00